

令和 6 年度学校評価報告書

令和 7 年 3 月 3 1 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭栄高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|---|
| (1) 学級減に伴う教育環境の変化に対する適切な対応
(2) より多くの生徒に目指される学校へ（志願者数の増加）
(3) 地域の教育資源の活用
(4) 「総合的な探究の時間」の充実 |
|---|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
1 学習指導	・観点別評価については、定着してきたので、更に検証し授業改善へとつなげていく。 ・ICTの活用が進んできており、より協働的な学びや個別最適な学びにつながるような工夫をに努める。	○取組は概ね十分である。 ・授業改善やICTの活用などは、継続的な研修や改善が必要なので、取組を継続して欲しい。
改善方策	・授業改善や評価方法、ICTの活用など継続的な検証・改善が必要なので、校内的な連携や校外における研修への参加など、より効果的な方法を検討していく。	
2 生徒指導	・概ね落ち着いた生活をしているが、校内外において、場に応じた言動がとれない場面が見受けられた。 ・生徒が安心して学校生活を送れるように、生徒への指導や教員の共通理解をさらに進めるよう努める。	○取組は十分である。 ・校内外での言動については、マナーやモラルなども含めた指導を継続して欲しい。
改善方策	・生徒の日常的な言動について、教職員間での共通理解のもと指導を継続し、安心して生活できる環境整備に努める。	
3 進路指導	・進路指導部を中心に、3年間を見通した計画のもと講習や模試を実施し、成果に結びついている。 ・年度当初の協議会や模試分析会などで、生徒の状況や課題を共有し、効果的な指導へと結びつけることができた。	○取組は極めて十分である。 ・生徒の進路実現へ向けて適切な取組がなされ、成果につながっている。
改善方策	・体系的な進路指導計画や体制をさらにブラッシュアップし、多様な選抜方法にも対応できるよう研究していく。	
4 健康安全指導	・熱中症対策については、教室の環境や服装の簡略化などにより対応した。 ・津波及び火災についての避難訓練を実施しているが、より効果的な実施方法を検討する必要がある。	○取組は概ね十分である。 ・特に、津波対策については重要だと思われるので、効果的な実施を検討して欲しい。
改善方策	・猛暑や荒天などの情報収集方法の確立と、生徒・保護者への連絡方法を構築するとともに、主体的に行動できるような指導や訓練を実施する。	
5 組織運営	・間口減に伴う校内組織の再編や業務の縮小等を実施した。	○取組は概ね十分である。 ・教員減により負担が増えると思うが、対応した体制を構築している。
改善方策	・次年度以降の教員減はないが、業務の見直しや縮減を進めていく必要がある。	

6 研 修 等	・ 医進類型事業を継続するとともに、D Xハイスクール事業を利用しモニターなどのデジタル機器を導入した。	○取組は概ね十分である。 ・DXハイスクール事業を利用して、よりデジタル化を進められるといい。
改善方策	・ 導入したデジタル機器についての利用の促進や、I C T機器の利用拡大に向けて校内研修等を実施していきたい。	
7 保護者・地域住民との連携	・ 学校祭において、P T Aと連携してバザーを実施できた。 ・ 高大連携により、地域の人材を活用出来ている。	○取組は極めて十分である。 ・ P T Aによるバザーが実施できたのは良かった。継続して欲しい。 ・ 大学との連携により、地域の教育資源の活用が図られている。
改善方策	・ 学校祭におけるP T Aバザーについては、方法を検討しながら継続していきたい。 ・ 地域の人材を活用した取組をさらに活発にしていきたい。	
8 施設・設備	・ 教室に簡易式クーラーやモニターが導入され、活用方法に幅ができた。 ・ インターネット環境の整備も進められ、利用促進につながった。	○取組は概ね十分である。 ・ 施設設備の整備は必要な事であるので、継続的に進めて欲しい。
改善方策	・ 日常的な維持管理から、必要な整備を進めていく。	
9 その他	・ 学校の現状や地域からの期待を踏まえて、重点項目等を設定できた。 ・ 生徒・保護者のアンケート回答率は高く、意見や要望を汲み取ることができている。	○取組は概ね十分である。 ・ 地域からの期待を意識した教育活動の推進を進めて欲しい。
改善方策	・ 次年度以降も、地域からの期待を踏まえて教育活動を進めていく。	
公表方法	・ 学校ホームページ上での公開 ・ P T A総会及び保護者懇談会等での説明	